

進路指導室から 第286号

はじめに

記録的な大雨となり、各地で甚大な被害が出ています。2年前の西日本豪雨では、ライフラインが止まるとともに、多くの箇所道路や鉄道が寸断されました。6日(月)には広島各被災地で追悼行事が行われました。災害から命を守る取組は今後も模索していく必要があると思われました。

「2020年度大学入試結果」について

河合塾から提供された「第1回大学入試情報分析報告会分析資料」に、前年度の2020年度入試について紹介されました。今回は、資料をもとに国公立大学を中心にまとめています。

□ 2020年度入試の受験環境

● 大学志願者減少

18歳人口は前年から約7千人減少しています。これに伴い、現役大学志願者数は減少しました。既卒生は1割弱減少している見込みで、現役生と既卒生を合わせた大学志願者数は、前年度から約2万人減少の65万4千人程度(約3%減)と推定されます。大学入試センター試験受験者数も約4%減少となりました。

● 大学入試センター試験平均点ダウン

最後となった大学入試センター試験の出題において、大学入学共通テストを意識した出題も見られました。志願動向に影響が大きい平均点は、英数国で下がりました。特に英語(筆記+リスニング)は10点、数学I A・II Bは12点と大幅に下がりました。

● 私立大学定員超過是正は一段落

ここ数年、都市部を中心とした私立大学難化の要因となった入学定員管理の適正化は、多くの大学で2019年度入試までに終えている様子が見られました。2020年度入試は、合格者数の絞り込みは起きにくい状況でした。

● 新入試を控えた入試・警戒する受験生の安全志向

翌年に新入試を控え、現役合格を意識した心理から、例年以上に安全志向が見られました。特に近年難化をみせていた都市部私立大学では難関大学を敬遠する動きが鮮明でした。

□ 国公立大学一般入試 全体概況

● 日程

日程	志願者数				合格者数			倍率	
	2019年度	2020年度	前年差	前年比	2019年度	2020年度	前年比	'19	'20
前期	258,540	243,103	-15,437	94%	91,182	90,959	100%	2.8	2.7
後期	179,613	165,086	-14,527	92%	22,524	22,986	102%	8.0	7.2
中期	31,687	31,426	-261	99%	5,077	4,735	93%	6.2	6.6

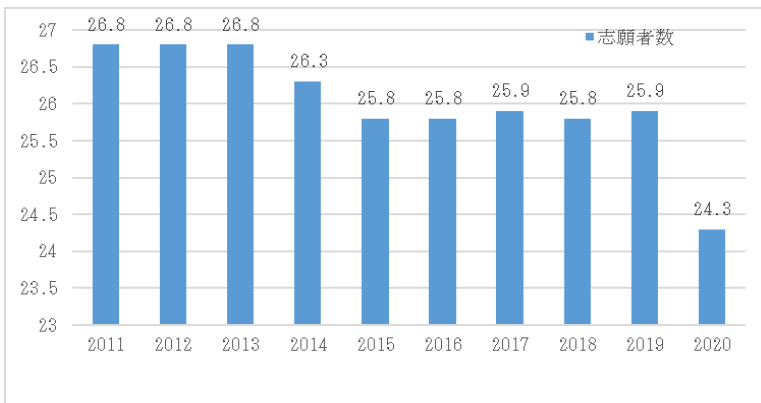
すべての日程で、2020年度は2019年度と比べて減少しています。要因として、全体の受験者数が減少したことと、大学入試センターで、国語・数学・英語の平均点が下がったことが要因としてあげられます。特に後期日程の倍率の減少率が大きくなりました。

● 地区別(前期日程)

地区	志願者数				合格者数			倍率	
	2019年度	2020年度	前年差	前年比	2019年度	2020年度	前年比	'19	'20
北海道	12,297	12,584	+287	102%	4,807	5,189	108%	2.6	2.4
東北	20,776	19,376	-1,400	93%	7,686	7,537	98%	2.7	2.6
北関東・甲信越	27,074	25,321	-1,753	94%	10,023	9,879	99%	2.7	2.6
首都圏	51,507	48,741	-2,766	95%	15,115	15,039	99%	3.4	3.2
北陸	11,283	10,221	-1,062	91%	4,050	4,053	100%	2.8	2.5
東海	22,619	21,105	-1,514	93%	7,850	7,842	100%	2.9	2.7
近畿	43,531	39,697	-3,834	91%	15,059	15,033	100%	2.9	2.6
中国	23,862	22,872	-990	96%	9,112	9,035	99%	2.6	2.5
四国	10,723	11,000	+277	103%	4,221	4,243	101%	2.5	2.6
九州	34,868	32,186	-2,682	92%	13,259	13,109	99%	2.6	2.5

志願者数については、「北海道地区」と「四国地区」以外は減少しています。特に「北陸地区」「近畿地区」「九州地区」で減少率が大きくなっています。このうち、「北陸地区」と「九州地区」については、私立大学の志願者数が前年度と比べて増加しています。（「北陸地区」：116%増加、「九州地区」：108%増加）これらの地区では私立大学への受験が志向された可能性があります。

〔前期日程志願者の推移〕



ここ10年間で約2.5万人の減少となっています。2020年度は2019年度と比べて1.6万人の減少となりましたが、これは先にあげた「受験生の減少」と「現役志向」も関わっているようです。

〔倍率〕

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
倍率	3.0	2.9	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7

□ 国公立大学 学部系統別の状況

系統（分野）	募集人員		志願者数			合格者数		倍率	
	2020年度	前年差	2020年度	前年差	前年比	2020年度	前年比	‘19	‘20
文	7,038	+3	21,946	-1,441	94%	8,032	99%	2.9	2.7
社会・国際	3,969	-53	12,939	-1,800	88%	4,891	98%	2.9	2.6
法・政治	4,158	-15	12,796	-1,199	91%	4,808	100%	2.9	2.7
経済・経営・商	8,119	-40	25,758	-2,680	91%	10,003	101%	2.9	2.6
教育（教員養成課程）	7,172	-111	17,606	-1,450	92%	7,922	99%	2.4	2.2
教育（総合科学課程）	838	+8	2,122	-364	85%	939	102%	2.7	2.3
理	4,907	-64	14,036	-568	96%	5,472	98%	2.6	2.6
工	22,834	+39	66,976	-1,958	97%	25,457	99%	2.7	2.6
工学系一括	5,188	+96	14,552	-12	100%	5,676	100%	2.6	2.6
機械・航空	3,526	-23	10,198	-250	98%	3,951	98%	2.6	2.6
電気電子・通信情報	5,474	-65	18,825	-886	96%	6,102	98%	3.2	3.1
建築・土木環境	2,681	-56	7,875	-635	93%	2,926	97%	2.8	2.7
応用化学・材料物質	4,465	-63	11,356	-40	100%	5,059	98%	2.2	2.2
農	5,657	+77	15,469	-986	94%	6,440	102%	2.6	2.4
獣医	250	-1	1,004	-173	85%	274	100%	4.3	3.7
医・歯・薬・保健	10,539	-49	34,762	-3,089	92%	11,447	101%	3.3	3.0
医	3,859	-55	14,741	-1,649	90%	3,721	99%	4.4	4.0
歯	452	+5	1,657	-167	91%	496	104%	3.8	3.3
薬	752	-9	2,620	-239	92%	864	98%	3.2	3.0
看護	3,931	0	10,323	-933	92%	4,343	101%	2.6	2.4
医療技術・保健	1,815	+10	5,421	-101	98%	2,023	102%	2.8	2.7
生活科学	788	-1	2,424	-188	93%	897	99%	2.9	2.7
芸術・スポーツ科学	1,582	0	7,354	-148	98%	1,715	101%	4.4	4.3
総合・環境・情報・人間	2,523	+96	8,915	+434	105%	2,936	104%	3.0	3.0
情報	885	+124	2,726	+97	104%	933	118%	3.1	2.7

ほとんどの系統で減少しています。特に「社会・国際」「法・政治」「経済・経営・商」の減少率が大きくなっています。一方、「理」「工」「農」は増加しています。ここ数年の「文系人気・理系不人気」の流れが変わった潮目の入試であったかもしれません。

□ 難関国立大学の状況

● 大学グループ別（前期日程）

グループ	志 願 者 数				合 格 者 数			倍 率	
	2019年度	2020年度	前年差	前年比	2019年度	2020年度	前年比	'19	'20
難関10	58,003	55,211	-2,792	95%	20,572	20,472	100%	2.8	2.7
準難関	41,369	39,072	-2,297	94%	14,725	14,645	99%	2.8	2.7
その他	159,168	148,820	-10,348	93%	55,885	55,842	100%	2.8	2.7

※ 準難関：筑波・千葉・横浜国立・新潟・金沢・岡山・広島・熊本・東京都立・大阪市立
すべての大学グループで減少しています。その結果、倍率が低下し、やや広き門となったようです。

● 難関10大学（前期日程）

大 学	志 願 者 数				合 格 者 数			倍 率	
	2019年度	2020年度	前年差	前年比	2019年度	2020年度	前年比	'19	'20
北 海 道	5,843	5,474	-369	94%	2,013	2,022	99%	2.9	2.7
東 北	4,813	4,384	-429	91%	1,833	1,759	96%	2.6	2.5
東 京	9,483	9,259	-224	98%	3,018	3,010	100%	3.1	3.1
東京工業	4,222	3,790	-432	90%	940	944	100%	4.5	4.0
一 橋	2,687	2,490	-197	93%	878	880	100%	3.1	2.8
名 古 屋	4,736	4,422	-314	93%	1,818	1,801	99%	2.6	2.5
京 都	7,511	7,347	-164	98%	2,722	2,725	100%	2.8	2.7
大 阪	7,536	7,462	-74	99%	3,108	3,107	100%	2.4	2.4
神 戸	5,933	5,569	-364	94%	2,053	2,047	100%	2.9	2.7
九 州	5,239	5,014	-225	96%	2,189	2,197	100%	2.4	2.3

すべての大学で減少しています。ただし、「東京大学」「京都大学」の最難関大学の減少率は相対的に小さく、ほぼ例年通りの入試が行われたようです。一方、「東北大学」「東京工業大学」の減少率が大きくなっています。

□ 中四国地区国公立大学の状況（一部）

● 国立大学

大 学 名	前 期 日 程 志 願 者					後 期 日 程 志 願 者				
	18年度	19年度	20年度	19/18	20/19	18年度	19年度	20年度	19/18	20/19
国 立 計	24,624	25,227	23,920	102%	95%	20,034	18,911	17,356	94%	92%
鳥 取	2,047	2,551	1,991	125%	78%	2,675	2,542	1,859	95%	73%
島 根	1,958	1,903	2,182	97%	115%	2,757	1,641	2,259	60%	138%
岡 山	3,459	3,374	3,364	98%	100%	1,744	1,653	1,351	95%	82%
広 島	4,841	4,849	4,370	100%	90%	2,334	2,435	2,246	104%	92%
山 口	3,605	3,671	3,085	102%	84%	2,924	3,481	2,503	119%	72%
愛 媛	2,635	2,746	2,680	104%	98%	2,801	2,471	2,269	88%	92%

前期日程については、「島根大学」が大きく増加しています。これは前年度の反動とみられます。一方、「鳥取大学」「広島大学」は大きく減少しています。後期日程については、「島根大学」以外は減少しています。特に「鳥取大学」「岡山大学」「山口大学」は大きく減少しており、結果的に「1倍台」の学部学科が数多く出ました。

● 県内公立大学

大 学 名	前 期 日 程 志 願 者					後 期 日 程 志 願 者				
	18年度	19年度	20年度	19/18	20/19	18年度	19年度	20年度	19/18	20/19
国 立 計	24,624	25,227	23,920	102%	95%	20,034	18,911	17,356	94%	92%
尾道市立	720	833	618	116%	74%	1,144	1,088	998	95%	92%
県立広島	1,065	1,012	676	95%	67%	1,376	1,317	816	96%	62%
広島市立	733	749	672	102%	90%	869	859	862	99%	100%
福山市立	595	569	458	96%	80%	1,078	805	932	75%	116%

終わりに

西日本豪雨の際には、臨時休業中にボランティア活動に取り組んだ生徒も数多くいたようです。ボランティア活動に取り組んでいる生徒がいることを聞き、差し入れをもって同僚と現地に向かいました。スコップをもち、泥だらけになった彼らに普段とは違う面を見たような気がしました。（文責：進路指導部 池本 邦彦）